




令和元年度の実績

3回の会議を開催予定でしたが、3回目は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とし、今年度は2回実施しました。

【第1回】

日時	令和元年7月16日(火) 14:10~16:40
会場	市民会館いわつき 505・506号室 参加者 74 機関 105名
内容	<p>【講師による講演】</p> <p>講義テーマは「実践で機能する地域生活支援拠点」とし、障害のある人が地域で安心して暮らすための地域連携のありかたについてご講義いただきました。</p> <p>【講師】</p> <p>日本知的障害者福祉協会政策委員会 副委員長 社会福祉法人 彩明会 理事長 白石 孝之氏</p> <p>【グループワーク】</p> <p>1グループ 5~6名 18グループに分かれてのグループワークの実施。ワークシートをもとに各グループにて話し合い。グループワークでは講演を受けての感想や意見、共有したいこと等の話し合いを行いました。</p> <p>【参加者からの感想等】</p> <p>地域連携について難しく感じる部分も多くありますが、今現在、行っていることが色々なことにつながっていることが分かって少し自信が持てました。</p> <p>ネットワークについてわかりやすく教えていただきました。支えあう地域づくりという言葉ではなく、活用できるようにすることの大切さを学びました。</p>
	

【第2回】

日時	令和元年11月18日(月) 14:00~16:30
会場	岩槻区役所 第1会議室 参加者 55 機関 81名
内容	<p>【講師による講演】</p> <p>昨年度は社会福祉法人みなと舎の森下様を講師としてお招きし、障害のある人の意思決定支援についての考え方を学びました。今回は、実践編として、各地で意思決定支援について講義をされている長岡様に御講義いただき、日頃の支援の中で起きる意思決定が必要な場面を題材として、事例をもとにグループワークを行いました。</p> <p>[講師]</p> <p>埼玉県発達障害福祉協会 会長 社会福祉法人ささの会 総合施設長 長岡 洋行氏</p> <p>【グループワーク】</p> <p>講義及び関連するDVDを見た後に事例検討を1グループ6~7名の計12グループに分かれ、講演を受けての感想や意見、共有したいこと等の話し合いを行いました。</p> <p>【参加者からの感想等】</p> <p>言葉一つひとつにもヒントが隠されていることが多方面の機関へのアセスメントが重要なのだと思いました。</p> <p>意思決定、とても単純な事の割にもものすごく深い話題と思いました。今後に生かせたらと思います。意思決定支援を行うために人や時間などの環境作りも必要である。限られた環境で工夫しながら支援者もやわらかい発達がもてればと思います。</p>
	 

【第3回】 **新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止といたしました。**

日時	令和2年3月9日(月) 13:30~16:30
会場	岩槻駅東口コミュニティセンター 多目的ルームA
内容	<p>【講師による講演】</p> <p>『災害時の地域連携を考える ～岩槻区のネットワークで災害に備えよう～』</p> <p>埼玉県立大学 社会福祉子ども学科 准教授 新井 利民氏</p> <p>【グループワーク】</p> <p>【参加者からの感想等】</p>